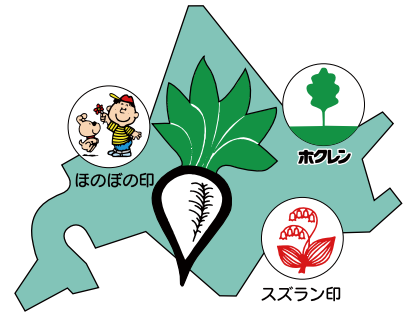


# てん菜 だより

2022.6

第 7 号



発行／一般社団法人北海道農産協会／〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目 ☎011-221-2542 FAX011-221-1815  
URL <https://hokkaido-nosan.or.jp>



てん菜定植作業（美瑛町）

## てんさい

健康ブームや消費者の低甘味嗜好等により、砂糖の需要は年々減少し、令和2年度で171万トンと、この20年で約50万トンの需要が失われ、直近では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により需要減に拍車がかかり、砂糖の在庫が増加しています。

作付面積は、労働負担の大きさなどから約5・7万haまで減少しているものの、新品種の導入・栽培技術の向上などにより産糖量は維持されています。

生産費は、直播の普及等により、ここ数年労働費は減少しているものの、合計では、10アール当たり10万円超と依然として高い水準となっています。

防除マニュアルなど基本技術の励行、自然災害に強い栽培技術の導入、省力作業機械の導入や基幹作業の外部化などに取り組み、省力化が着実に進展しているものの、コスト低減を含めた更なる取組の加速化が必要な状況となっています。

砂糖需要の減少を少しでも食い止めるため、砂糖に関する正しい知識の発信や菓子・スイーツ販売等を通じた砂糖の消費拡大が重要です。

一方、中長期的な需要動向や在庫の増加、さらには糖価調整制度の収支が悪化している状況にあることなどから、今後のてん菜生産や流通のあり方について、地域の実態も考慮しつつ検討を進めていく必要があります。

また、生産費が他品目に比べて高いことから、直播への転換、大型機械による作業効率化、作業の外部化や共同化、ICTの活用などに取り組みとともに、除草作業の軽減等につながる品種の導入を進めていく必要があります。

# 令和3年度事業報告の概要

## (てん菜関係の主な実施事業)

### 1. 原料てん菜の受渡し及び糖分測定立会事業

- (1) 立会人を445名委嘱し、公正・円滑な取引を推進
- (2) 新型コロナウイルス感染症防止を踏まえた立会業務の推進
- (3) 立会人の業務災害等の防止
- (4) 糖分測定センター(6製糖所・工場)の操業前点検及び立入点検(2回)の実施



令和3年9月糖分測定センター操業前点検

### (5) 立会人代表者会議の開催 (6) 立会業務功労者の顕彰

### 2. 試験研究事業の推進

- (1) てん菜輸入品種検定試験
- (2) 近赤外分光法によるてん菜の根中糖分非破壊評価技術に関する試験
- (3) てん菜受入査定・立会業務自動化システムの開発に関する試験

### 3. 普及啓発事業

- (1) てん菜関係資料の作成配布(てん菜だより年3回)
- (2) てん菜糖業年鑑の作成配布
- (3) 需要拡大・普及啓発対策の推進
  - ・JAグループ北海道砂糖需要拡大運動(天下糖プロジェクト)への対応
- (4) 高品質てん菜づくり講習会の実施
  - ・ホームページに講演動画掲載配信
- (5) 関連資料作成配布
  - ・てん菜系統および品種連絡成績書
  - ・令和3年産てん菜の生産実績

### 4. 種子対策事業

- (1) 優良品種認定
  - ・ H154
  - ・ KWS8K879
- (2) 「てん菜優良品種の解説」作成配布

### 5. 調査研究事業

- (1) 原料受入・糖分測定の効率化・合理化対策に関する検討・推進
- (2) てん菜輸入品種検定試験現地調査等の実施
- (3) てん菜生育状況等関連情報提供
- (4) 基金管理団体として対応した補助事業の事後指導

### 6. その他

- (1) てん菜紙筒育苗検討会の運営
- (2) 関連会議の開催・出席



令和3年9月輸入品種検定試験現地調査

令和3年度収支決算(てん菜事業)

(単位:千円)

| 収入   |        | 支出     |        |
|------|--------|--------|--------|
| 会費   | 60,900 | 事業費    | 73,641 |
| 負担金  | 22,411 | 管理費    | 4,247  |
| 受取利息 | 0      | 引当金繰入  | 3,900  |
| 雑収入  | 480    |        |        |
| 収入合計 | 83,792 | 支出合計   | 81,788 |
|      |        | 収支差額   | 2,004  |
|      |        | 期首正味財産 | 37,070 |
|      |        | 期末正味財産 | 39,074 |

# 令和4年度事業計画の概要

## (てん菜関係の主な実施事業)

### 1. 原料てん菜の受け渡し及び糖分測定立会事業

- (1) 立会人の委嘱と立会業務の推進
- (2) 糖分測定センターの立入点検実施
- (3) 糖分測定などに関する問題の処理
- (4) 糖分測定結果の取りまとめ
- (5) 立会業務などに関する効率化・合理化対策の検討・推進
- (6) てん菜受渡し等に係る現地調査・立会人代表者会議の開催
- (7) 立会業務功労者の顕彰
- (8) 立会業務に係わる新型コロナウイルス感染症防止対策の推進

### 2. 試験研究事業

- (1) てん菜輸入品種検定試験
- (2) 近赤外分光法によるてん菜糖分計測装置の開発
- (3) てん菜受入査定業務の自動化試験
- (4) てん菜褐斑病抵抗性「かなり強」を超える系統に対する防除技術の開発

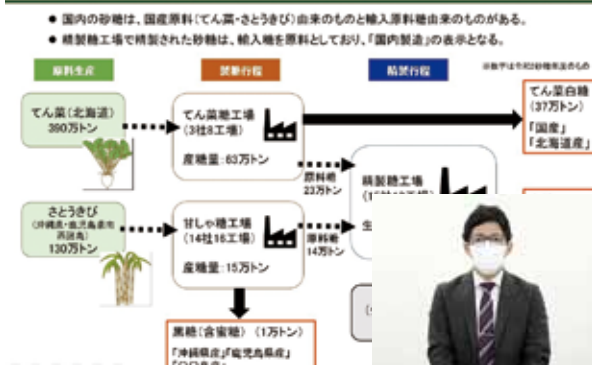
### 3. 普及啓発事業

- (1) てん菜づくり講習会の開催
- (2) てん菜糖業年鑑、機関紙「てん菜だより」、てん菜関連資料（生産実績、栽培技術等）の作成・配布
- (3) 需要拡大・普及啓発対策
  - ・ 関連イベント参加、JAGグループ北海道の消費拡大運動（天下糖プロジェクト）への対応など、て



近赤外分光法による糖分計測

### 国内における砂糖の流通



令和4年2月高品質てん菜づくり講習会

### 5. 調査研究事業

- (1) 原料受入・糖分測定の効率化・合理化対策に関する検討・推進
- (2) 生育状況現地調査、生産体制等に係る調査等の実施
- (3) 基金管理団体として対応した補助事業の事後指導

### 4. 種子対策事業

- (1) 優良品種や検定試験等に関する資料の作成・配布

てん菜・てん菜糖（砂糖）の需要拡大・普及啓発対策の推進

### 6. その他

- (1) てん菜紙筒育苗検討会の運営（事務局対応）
- (2) 関連会議への出席
  - ・ 北海道農協畑作青果対策本部委員会
  - ・ てん菜てん菜糖合理化検討委員会
  - ・ 畑作農業の確立に関する検討専門委員会
- (3) 組織統合に基づく共通事業の検討

### 令和4年度収支予算（てん菜事業）

（単位：千円）

| 収入   |        | 支出     |        |
|------|--------|--------|--------|
| 会費   | 60,900 | 事業費    | 79,970 |
| 負担金  | 23,000 | 管理費    | 4,440  |
| 受取利息 | 5      |        |        |
| 雑収入  | 500    |        |        |
| 収入合計 | 84,410 | 支出合計   | 84,410 |
|      |        | 収支差額   | 0      |
|      |        | 期首正味財産 | 37,070 |
|      |        | 期末正味財産 | 37,070 |

# てん菜直播栽培の現状と基本技術

道総研北見農業試験場 研究部麦類畑作グループ 主査 池谷 聡

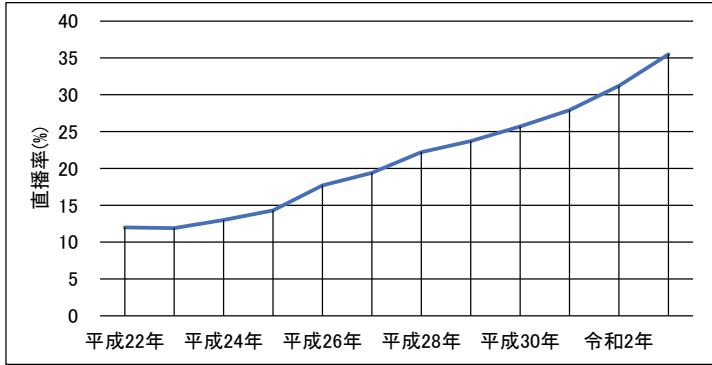


図1 てん菜の作付面積に占める直播栽培の割合  
注)「てん菜の生産実績」(北海道農産協会)より

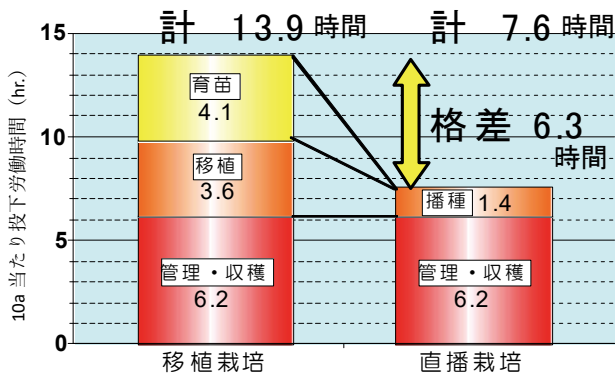


図2 移植栽培と直播栽培の投下労働時間の比較  
注)「てん菜直播栽培マニュアル2004」(北海道てん菜協会(現:北海道農産協会))より

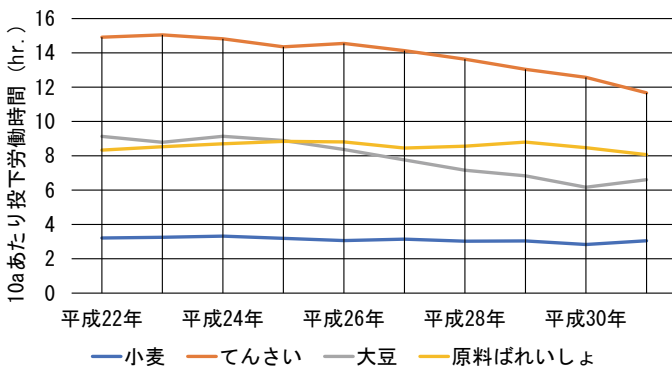


図3 主要畑作物の投下労働時間  
注)「北海道農林水産統計年報」より

1. てん菜における直播栽培の現状  
てん菜作では、近年、直播栽培の割合が高まっています。10年ほど前の平成22年には、作付け面積に占め

る直播栽培の割合は12%でしたが、直近の令和3年では、3分の1を超える35.5%となっています(図1)。直播栽培は、育苗と移植が不要となるため、作業の大幅な省力化が望めます。移植栽培と直播栽培の投下

労働時間を比較しますと(図2)、直播栽培は移植栽培より半分近く短くなります。てん菜は主要畑作物の中で最も投下労働時間が長い作物ですが、省力化可能な直播栽培の拡大に

よって、近年、着実に投下労働時間が短くなっています(図3)。また、直播栽培は、育苗資材などを用いないため、資材費も移植栽培に比べて安上がりになります。

このようにメリットが大きい直播栽培ですが、移植栽培より単収が低いことや、移植栽培と異なって、出芽期や幼苗期に圃場の環境の影響を受けやすいため、初期生育障害で生産が不安定になりやすいことなど、デメリットもあります。したがって、可能な限りデメリットを補うために、株立本数の確保や初期生育の安定化に向けた技術対策が必須となります。以下では、このような技術対策のポイントについて説明します。

## 2. 安定した直播栽培に向けたポイント

### (1) 播種

直播栽培で安定した収量を得るためには、栽植株数は10アールあたり8千本を確保する必要があります。そのため、播種粒数を1万粒程度と

テンサイトビハムシ（ジノミ）の食

種子の密着効果を高める上で有効で

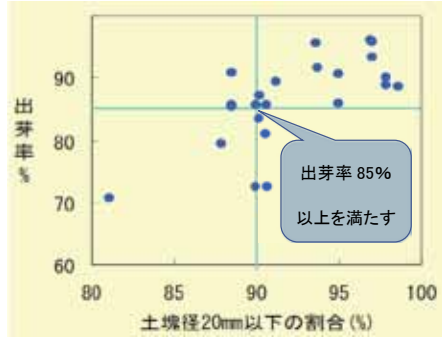


図4 砕土率と出芽率との関係  
注)「てん菜直播栽培マニュアル2004」  
(北海道てん菜協会 (現:北海道農産協会))より

し、85%以上の出芽率を得ることを目標とします。この目標を達成するためのポイントは、土粒子と種子を密着させ、毛管水を種子に供給することです。このような条件のためには、砕土の際に、土塊径20ミリメートル（およそ一円玉の大きさ）以下の割合を90%以上とすることが重要です（図4）。ただし、過度の砕土は、ソイルクラストの形成や風害の原因となるので避けましょう。また鎮圧の際には、狭幅鎮圧輪の使用が、土粒子と

直播栽培は、もともと苗立枯病や比較を示します。このように低pH圃場では、健全圃場と比べて生育が大

害によって出芽や初期生育が不安定になりやすいので、必ず殺菌剤、殺虫剤入りの直播用ペレット種子を用いましょう。

播種時期は、地温が10度以上となる頃を目安とします。播種時期が早いほど高い収量を確保できるので、融雪剤による融雪促進が推奨されます。一方で、霜害が発生した場合には大きな被害となるので、地域の晩霜を考慮して、極端な早期播種は避けましょう。

播種深度は、1から2センチメートルとし、土壌水分が少ない場合は、やや深めに設定すると、良好な出芽が期待できます。また播種機による播種作業は速すぎないように慎重におこない、播種精度を確保しましょう。

(2)土壌pHの矯正  
てん菜は、低pH土壌で生育障害を起こしやすい作物ですが、直播栽培は特に低pHに弱い傾向にあります。図5に低pH圃場と適正なpH圃場との

きく抑制され、減収しますので、土壤分析に基づいて、事前に石灰質資

図5に低pH圃場と適正なpH圃場との比較を示します。このように低pH圃場では、健全圃場と比べて生育が大

直播てん菜は、窒素肥料の濃度障害に弱く、特に初期生育で障害が起こりやすい傾向があります。そのため、全量を作条施用するのは避けるべきです。窒素肥料を分散させて施肥するためには、全層施肥や分肥が有

材の全面全層散布による酸度矯正を行います。矯正の目標値はpH5.8以上です。

(3)施肥法  
直播てん菜は、窒素肥料の濃度障害に弱く、特に初期生育で障害が起こりやすい傾向があります。そのため、全量を作条施用するのは避けるべきです。窒素肥料を分散させて施肥するためには、全層施肥や分肥が有

効です。全層施肥は、整地前にプロードキャストなどで肥料全量を圃場全面に散布し、整地作業時に土壌と混和する方法です。ただし、多量の降雨があると肥料流亡により窒素の肥効が低下することから、4月下旬から6月の積算降水量が多い地域では適用できません。分肥は、播種時に窒素を10アールあたり4キログラム程度、そのほかの肥料成分は、全量を作条施肥し、残りの窒素を追肥する方法です。追肥時期は、出芽揃い期から本葉2葉期までで、尿素か硫酸を用います。追肥作業が加わることによる他作物との作業競合の可能性がありますが、降水量にかかわらず適用可能な方法です。

効です。全層施肥は、整地前にプロードキャストなどで肥料全量を圃場全面に散布し、整地作業時に土壌と混和する方法です。ただし、多量の降雨があると肥料流亡により窒素の肥効が低下することから、4月下旬から6月の積算降水量が多い地域では適用できません。分肥は、播種時に窒素を10アールあたり4キログラム程度、そのほかの肥料成分は、全量を作条施肥し、残りの窒素を追肥する方法です。追肥時期は、出芽揃い期から本葉2葉期までで、尿素か硫酸を用います。追肥作業が加わることによる他作物との作業競合の可能性がありますが、降水量にかかわらず適用可能な方法です。

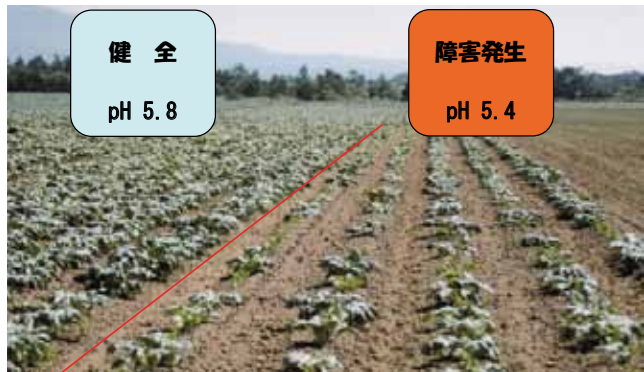


図5 低pHのために初期生育障害の発生した直播栽培圃場  
注)「てん菜直播栽培マニュアル2004」(北海道てん菜協会 (現:北海道農産協会))より

効です。全層施肥は、整地前にプロードキャストなどで肥料全量を圃場全面に散布し、整地作業時に土壌と混和する方法です。ただし、多量の降雨があると肥料流亡により窒素の肥効が低下することから、4月下旬から6月の積算降水量が多い地域では適用できません。分肥は、播種時に窒素を10アールあたり4キログラム程度、そのほかの肥料成分は、全量を作条施肥し、残りの窒素を追肥する方法です。追肥時期は、出芽揃い期から本葉2葉期までで、尿素か硫酸を用います。追肥作業が加わることによる他作物との作業競合の可能性がありますが、降水量にかかわらず適用可能な方法です。

(4)ソイルクラストおよび風害の対策  
ソイルクラストは、播種後の降雨、特に短時間の強い雨が原因で発生し、出芽不良の原因となります。対策としては、強い降雨が予想される場合は播種を避けること、整地作業時に砕土を細かくしすぎないことなどが挙げられます。またクラスト形成後

効です。全層施肥は、整地前にプロードキャストなどで肥料全量を圃場全面に散布し、整地作業時に土壌と混和する方法です。ただし、多量の降雨があると肥料流亡により窒素の肥効が低下することから、4月下旬から6月の積算降水量が多い地域では適用できません。分肥は、播種時に窒素を10アールあたり4キログラム程度、そのほかの肥料成分は、全量を作条施肥し、残りの窒素を追肥する方法です。追肥時期は、出芽揃い期から本葉2葉期までで、尿素か硫酸を用います。追肥作業が加わることによる他作物との作業競合の可能性がありますが、降水量にかかわらず適用可能な方法です。

効です。全層施肥は、整地前にプロードキャストなどで肥料全量を圃場全面に散布し、整地作業時に土壌と混和する方法です。ただし、多量の降雨があると肥料流亡により窒素の肥効が低下することから、4月下旬から6月の積算降水量が多い地域では適用できません。分肥は、播種時に窒素を10アールあたり4キログラム程度、そのほかの肥料成分は、全量を作条施肥し、残りの窒素を追肥する方法です。追肥時期は、出芽揃い期から本葉2葉期までで、尿素か硫酸を用います。追肥作業が加わることによる他作物との作業競合の可能性がありますが、降水量にかかわらず適用可能な方法です。

効です。全層施肥は、整地前にプロードキャストなどで肥料全量を圃場全面に散布し、整地作業時に土壌と混和する方法です。ただし、多量の降雨があると肥料流亡により窒素の肥効が低下することから、4月下旬から6月の積算降水量が多い地域では適用できません。分肥は、播種時に窒素を10アールあたり4キログラム程度、そのほかの肥料成分は、全量を作条施肥し、残りの窒素を追肥する方法です。追肥時期は、出芽揃い期から本葉2葉期までで、尿素か硫酸を用います。追肥作業が加わることによる他作物との作業競合の可能性がありますが、降水量にかかわらず適用可能な方法です。

効です。全層施肥は、整地前にプロードキャストなどで肥料全量を圃場全面に散布し、整地作業時に土壌と混和する方法です。ただし、多量の降雨があると肥料流亡により窒素の肥効が低下することから、4月下旬から6月の積算降水量が多い地域では適用できません。分肥は、播種時に窒素を10アールあたり4キログラム程度、そのほかの肥料成分は、全量を作条施肥し、残りの窒素を追肥する方法です。追肥時期は、出芽揃い期から本葉2葉期までで、尿素か硫酸を用います。追肥作業が加わることによる他作物との作業競合の可能性がありますが、降水量にかかわらず適用可能な方法です。

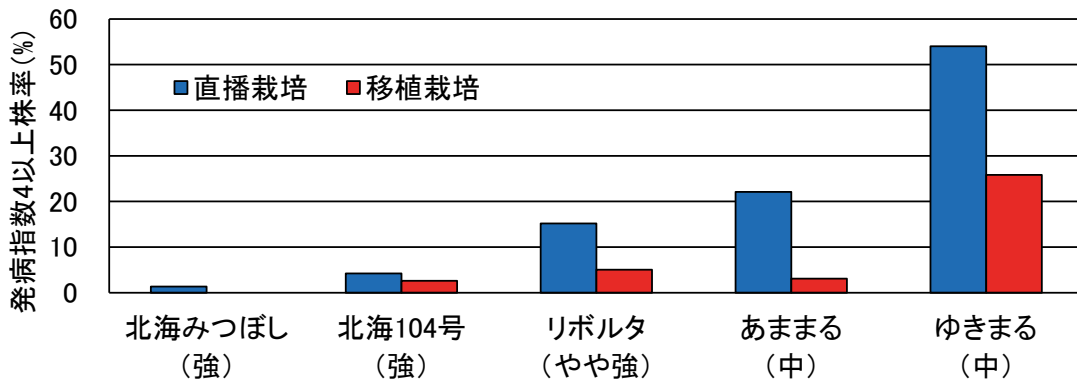


図6 栽培法による黒根病発生状況の違い (北農研 2019)

の対策としては、クラストクラッシュの利用が挙げられます。  
風害は、強風によって土壌が飛来したり飛散したりすることによって、

直播栽培の株立ちや初期生育に大きな影響を与えます。対策としては、整地作業時の碎土率が過度にならないように抑えて、さらに整地表面の鎮圧強化による土壌水分の維持で土壌飛散を抑える方法があります。その他に、えん麦などの麦類を被覆作物とする方法、深耕爪カルチ施工により畦間土壌を盛り上げ被覆する方法がありますが、圃場周辺の状況に応じて対策を選択すべきです。

(5) 湿害対策  
てん菜は、湿害に弱い作物です。土壌水分が過剰になることによって、呼吸障害や吸肥力の低下がおこり、生育が停滞します。また、黒根病が誘発され、単収や糖分の低下につながります。湿害の対策としては、明渠、暗渠の設置、心土破碎による耕盤層の破壊、圃場の均平化、堆肥の施用による土作りが有効です。

直播栽培では、移植栽培よりも黒根病の被害が大きくなります(図6)。また、黒根病の発生した直播栽培圃場では、図7に示すとおり、抵抗性が

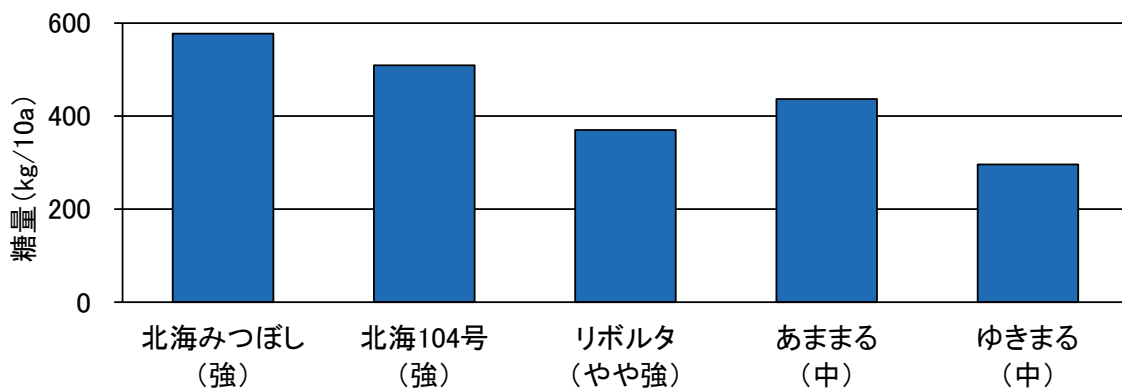


図7 黒根病発生直播圃場における抵抗性の異なる品種の糖量 (北農研 2019)

が強い品種の方が、弱い品種より糖量が多くなります。そのため、黒根病発病履歴のある直播栽培圃場にお

いては、可能な限り抵抗性「強」品種を作付けしましょう。

(6) 雑草管理

直播栽培は、移植栽培と異なり、出芽直後から圃場で生育するので、雑草と競合しやすい傾向にあります。てん菜の雑草防除の主力となる茎葉処理可能な除草剤については、以前は、てん菜本葉2葉期以降でしか処理できず、雑草の発生が早い場合は管理が困難でしたが、近年、出芽揃期や子葉展開期に処理できる薬剤が増えていきますので、これらを利用して、雑草発生初期の適期処理を徹底するよう心がけましょう。

以上、特に初期生育段階の技術対策のポイントをいくつか述べましたが、これらを参考にして、今後の直播栽培の安定化に活用していただければ幸いです。

# 砂糖消費拡大対策の実施について

J Aグループ北海道で実施しております砂糖の消費拡大事業「天下糖一プロジェクト」について、本年は直接的な消費や生産者の参加を意識した事業を展開します。

北海道農産協会においては、昨年に引き続き道内向け施策の一部を担当致します。



【ハイスクールパティシエロワイヤル】  
昨年に続き、パティシエを目指す高校生が参加する「ハイスクールパティシエロワイヤル」に特別協賛を実施します。  
本年度も入賞作品に加え本選出場



作品についても商品化し、全道のセ  
イコマートで期間・地域限定での  
販売を予定しております。  
昨年度商品化し販売した上位4作  
品は、2週間限定で約8万個を売り  
上げており、砂糖の消費拡大に貢献  
しております。

【シュガーセミナーインハイスクール】  
砂糖のサポーターを育成し、将来  
的な砂糖消費につなげることを目的  
に、本年度もハイスクールパティシ  
エロワイヤルへの参加校を中心に  
出前授業を実施致します。

三笠市地域おこし協力隊を講師に

迎え、砂糖の効用についての講座・  
お菓子作り実習など、道内15校を対  
象に実施する予定です。

【親子で参加するオンライン食育・  
お菓子作りセミナー】

小学生に今後長期にわたる砂糖の  
サポーターとなってもらうことを目  
的に、親子を対象とした砂糖に関す  
る食育セミナーを開催し、実際に「触  
れて、食べて、感じて」もらうこと  
でPRだけでは伝わりきらない実感  
をもって砂糖を理解  
してもらいます。

講師と各家庭をオ  
ンラインでつなぎ、  
てん菜生産者の出席  
も計画。年間5回  
程の開催を計画して  
おります。

天下糖一プロジェ  
クトの活動につきま  
しては、ホームペー  
ジを御覧ください

(<https://tenkatouitn-project.jp/>)

砂糖のこと  
もっと知ろう! 食べよう!  
オンライン食育&お菓子作りセミナー

令和3年(2021年)産

## てん菜糖の生産実績

北海道農政部生産振興局農産振興課調べ

| 糖業者名<br>工場名 | 原料処理量<br>(t) | 砂糖生産量<br>(うち原料糖)<br>(t)    | 歩留<br>(%)                  | ビートパルプ<br>生産量<br>(t) | 歩留<br>(%) | 截断<br>期間<br>(月日) | 截断<br>延べ<br>日数  | 製糖期間<br>(月日) | 製糖<br>延べ<br>日数  |     |
|-------------|--------------|----------------------------|----------------------------|----------------------|-----------|------------------|-----------------|--------------|-----------------|-----|
| 日<br>甜      | 芽室           | 1,137,772.03               | 179,330.00<br>(68,630.70)  | 15.76                | 46,241.22 | 4.06             | 10月10日<br>2月17日 | 131          | 10月10日<br>5月5日  | 208 |
|             | 美幌           | 397,396.34                 | 62,500.00<br>(49,999.98)   | 15.73                | 18,579.54 | 4.68             | 10月10日<br>2月6日  | 120          | 10月10日<br>2月6日  | 120 |
|             | 士別           | 270,380.70                 | 40,700.18<br>(879.78)      | 15.05                | 12,878.64 | 4.76             | 10月8日<br>1月10日  | 95           | 10月8日<br>1月11日  | 96  |
|             | 小計           | 1,805,549.07               | 282,530.18<br>(119,510.46) | 15.65                | 77,699.40 | 4.30             |                 |              |                 |     |
| ホクレン        | 中斜里          | 933,241.18                 | 148,404.77<br>(67,059.54)  | 15.90                | 42,932.81 | 4.60             | 10月10日<br>3月17日 | 159          | 10月10日<br>3月30日 | 172 |
|             | 清水           | 379,817.10                 | 58,000.00<br>(12,127.26)   | 15.27                | 18,569.12 | 4.89             | 10月16日<br>2月28日 | 136          | 10月16日<br>2月28日 | 136 |
|             | 小計           | 1,313,058.28               | 206,404.77<br>(79,186.80)  | 15.72                | 61,501.93 | 4.68             |                 |              |                 |     |
| 北<br>糖      | 北見           | 282,340.44                 | 45,850.01<br>(3,106.65)    | 16.24                | 16,613.72 | 5.88             | 10月14日<br>2月4日  | 114          | 10月14日<br>2月6日  | 116 |
|             | 道南           | 285,616.72                 | 46,329.99<br>(32,621.07)   | 16.22                | 16,289.74 | 5.70             | 10月15日<br>2月11日 | 120          | 10月15日<br>3月3日  | 140 |
|             | 本別           | 374,284.40                 | 58,869.99<br>(19,322.25)   | 15.73                | 16,449.94 | 4.40             | 10月13日<br>3月8日  | 147          | 10月13日<br>3月10日 | 149 |
|             | 小計           | 942,241.56                 | 151,049.99<br>(55,049.97)  | 16.03                | 49,353.40 | 5.24             |                 |              |                 |     |
| 合計          | 4,060,848.91 | 639,984.94<br>(253,747.23) | 15.76                      | 188,554.73           | 4.64      |                  |                 |              |                 |     |

注 砂糖生産量の下段のカッコ内は原料糖の生産量で、内数である。

### 新優良品種の紹介

令和4年に新たに認定された優良品種を紹介いたします。

#### 【系統名H154(品種名未定)】

ベルギーのセス・バンデルハーベ社が育成した2倍体の品種で、平成29年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し、対照品種をパピリカとして平成30年～令和3年に北海道における各種特性検定を実施、令和2年～3年に現地検定試験を実施しました。

長所：褐斑病抵抗性が「中」である。栽培上の注意事項

根腐病抵抗性が「やや弱」であるため、適切な防除に努める。

H154をパピリカに置き換えて普及させることで、てん菜のさらなる安定生産に貢献できる。

#### 【系統名KWS8K879(品種名未定)】

ドイツのKWS種子株式会社が育成した2倍体の品種で、平成29年に日本甜菜製糖株式会社が輸入し、対

照品種をカーベ2K314として平成30年～令和3年に北海道における各種特性検定を実施、令和元年～3年に現地検定試験を実施しました。

長所：特定のALS阻害型除草剤に細胞培養技術由来の耐性を持つ。

短所：根重、糖量が少ない。

#### 栽培上の注意事項

①収量性が劣るため、導入にあたっては雑草の発生量を考慮する。

②根腐病抵抗性が「やや弱」であるため、適切な防除に努める。

③対象のALS阻害型除草剤の使用にあたっては、処理時期や注意事項等を厳守する。

④除草剤耐性を持たない通常のてんさいに当該除草剤が飛散すると枯死するので、十分注意する。

雑草多発により除草労力が過大で減収被害が大きい直播栽培地域を主な対象地域として、KWS8K879を普及し、耐性を持つALS阻害型除草剤と組み合わせ導入していくことにより、除草作業の大幅な省力化ならびに雑草害の軽減が期待され、てんさい栽培面積や栽培農家戸数の維持、拡大に貢献できる。